

登録コード:MH177100 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	コミュニケーション方法論（基礎）【22M以降】 Communication（Basic）			
担当教員	小林 千世 他 浅野 美礼・上原 文恵・山口 大輔			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護1年 前期(集中) 木曜・5時限			
単位数、講義室	1単位	保健学科311講義室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH25カリ・保健・看護、MH23カリ・保健・看護			
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		看護職として患者や多職種との良好な関係を築くための基礎的なコミュニケーション技法を習得し、グループワークで活用できる。	
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		社会で派生するコミュニケーションに係る多様な課題に対して、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題の克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力を習得する。	
授業で学べる「テーマ」	その他			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	伝えたいことを効果的に伝え、相手と良好な関係を築くためのコミュニケーションの基本的な知識、自己や他者のコミュニケーションの特徴を知り、それらを活用したグループワークを行う。これらの知識や経験を通して看護学生・看護職として患者や他職種と良好な関係を築くためのコミュニケーションをとる方法について理解を深める。 本授業の内容は、コミュニケーション方法論、基礎看護学実習 及び基礎看護学実習の学習を進めるために重要な基礎知識となります。 本授業は、担当教員の医療施設や看護の教育現場における教育者および看護師としての実務経験を活かして講義を行います。 本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいません。			
授業計画	看護学概論 ・ と融合的に行うため講義のスケジュールは不定期です。 第1回は4月16日です。日程に注意してください。 第1回(4月16日) 3限 コミュニケーションの基盤 コミュニケーションとは 第2回(4月16日) 4限 コミュニケーションの基盤 自分との対話、自己紹介<課題> 第3回(4月23日) 3限 コミュニケーションの基盤 コミュニケーションのタイプ 第4回(4月23日) 4限 コミュニケーションの基盤 異なるタイプへのアプローチ<課題> 第5回(5月7日) 3限 コミュニケーションの基盤 ペーシング 第6回(5月7日) 4限 コミュニケーションの基盤 伝える力<課題> 第7回(5月14日) 3限 コミュニケーションの基盤 1メッセージ、承認 第8回(5月14日) 4限 コミュニケーションの基盤 まとめ、授業アンケート			
授業の進め方	・講義は外部講師が担当し、看護学概論の講義枠を使って実施します。 ・基礎看護学領域の教員もサポートします。 ・授業は、事前にアップされる事前課題とパワーポイントを使った講義、グループワークで構成されます。 ・グループで課題に取り組みながら、活用できるコミュニケーションスキルの習得を目指します。 ・行動目標に到達できるように能動的に授業に取り組んでください。 ・講義では椅子だけを使うので、2限終了後に教室の準備をします。 ・使用しない私物はロッカーにしまってください。 ・授業ではクリップボードを使いますので、持参してください。			
テキスト、教材、参考書	テキスト ・基礎看護技術 医学書院 参考書 ・対人関係の現場で使える聴く・伝える・共感する技術便利帳 (株)翔泳社 ・対人関係の現場で使える質問する技術便利帳 (株)翔泳社 ・対人関係の現場で使える承認する・勇気づける技術便利帳 (株)翔泳社			
成績評価の方法	最終課題レポート、事前課題、講義からの学びや質問などを記載するコメントペーパーにより総合的に評価します。 総合的評価の配分は、最終課題レポート60%、事前課題10%、コメントペーパーの内容30%です。 コメントペーパーは30点満点で毎回評価し、平均して得点とします。 看護職として患者や多職種との良好な関係を築くための基礎的なコミュニケーション技法への理解度と、自己のコミュニケーションの課題に対応していく思考と、課題の克服や目標達成に取り組む力を確認する。			

成績評価の基準	総合的評価の成績判定基準は、秀：100～90点、優：89～80点、良：79～70点、可：69～60点です。 コメントペーパーと最終課題レポートの判定は、 課題に対応した適切な内容である。 自分の考えを説明できている。 自分の考えの根拠を説明できている。 指定された書式であり、記載項目に不足がない。 既存の内容に依存していない。 期限内に提出する。 ～ を満たしており、自分の考えが説得力を持って明確に説明されている特出したレベルであれば「90～100%到達」。 ～ を満たして、適切に自己の考えをまとめたレポート内容の場合は「80～89%到達」。 ～ を満たしているが、～ にやや課題が残る場合は「70～79%到達」。 ～ を満たしているが、～ に課題が残る場合は「60～69%到達」と評価します。到達度が60%未満の場合は、課題を追加して再評価します。
事前事後学習の内容	本授業の単位取得には45時間必要であるため、以下の学習時間を要します。 授業時間15時間（2時間×7.5回）+自己学習時間30時間（4×7.5回）=45時間 ・事前学習 講義の前日までに連絡するので講義開始までに取り組み、e-ALPSの課題提出フォルダにアップする。実施した課題を持参して授業に参加する。 ・事後学習 毎回の講義内容について自己の課題を明らかにし、課題とした内容について調べてA4 1枚程度に理解した内容をまとめて提出する。
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	・コミュニケーションスキルは学生生活を送るうえでも、看護職としても習得が必要な専門的な技術です。実習や看護方法論の学習の中で活用できるように積極的に学習に臨んでください。 ・オフィスアワー：随時対応します。メールなどで事前に連絡してください。 小林メールアドレス：ckobaya@shinshu-u.ac.jp 小林千世研究室：保健学科中校舎4階 ・上原文恵助教・浅野美礼教授・山口大輔助教も対応します。